報道関係各位

2024 年　9 月 30 日
株式会社ツナググループ・ホールディングス（証券コード：6551）

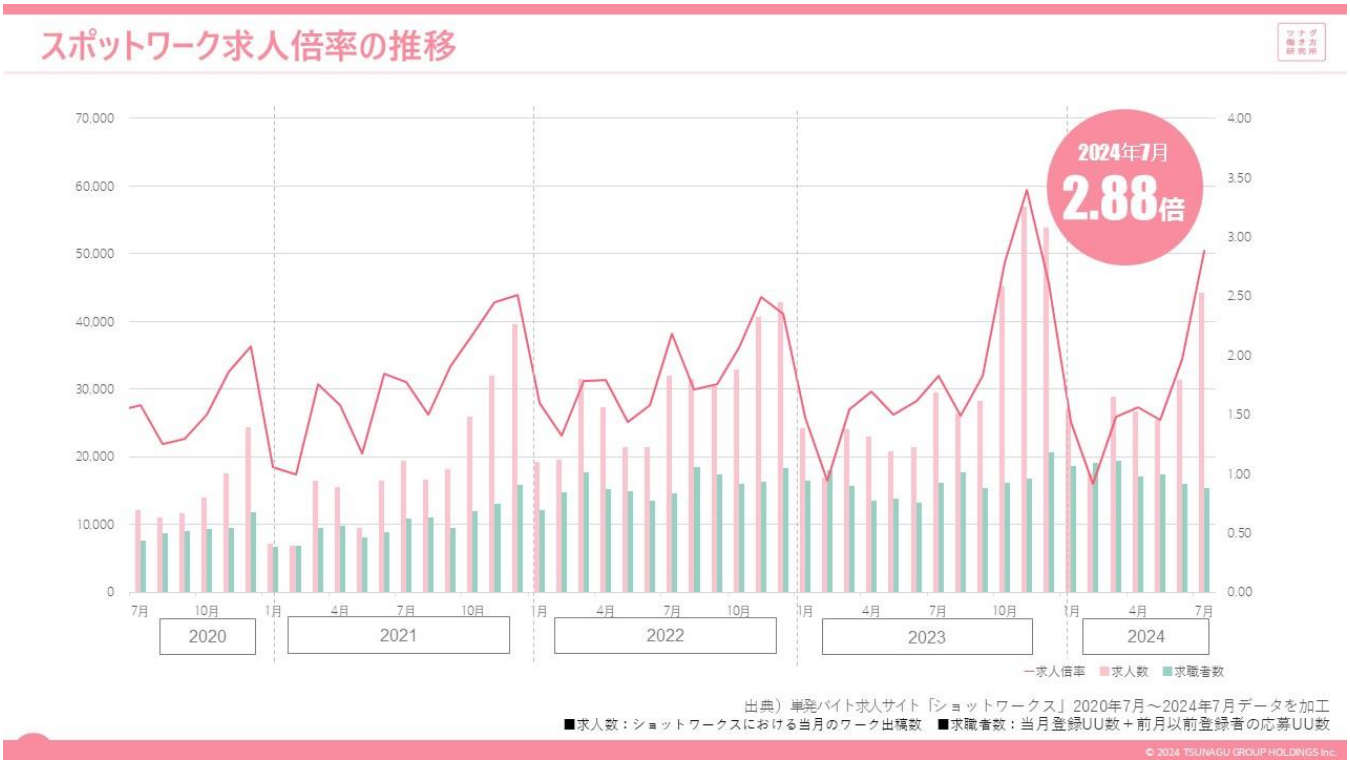
単発、短時間、短期間で働くスポットワークの求人倍率は 2.88 倍
求人数が前年比+49.9%となり、求人倍率も前年を大幅に上回る
-スポットワークマーケットデータレポート（2024 年 7 月度版）-

多様な働き方の調査研究機関「ツナグ働き方研究所(https://tsuna-ken.com/ 拠点：東京都中央区/所長：大野博司)」は、ここ数年で広がりを見せる「単発、短時間、短期間で働くスポットワーカーの市場」について定点観測する「スポットワークマーケットデータレポート」を毎月発表しています。
本レポートでは、2024 年 7 月度最新データについて、とりまとめましたのでご報告いたします。
※レポート詳細はこちら：https://tsuna-ken.com/research_report/202407_spotwork-7/

【トピックス】
1．スポットワークの求人倍率は 2.88 倍。前年差+1.05 ポイントと大幅な伸び。
2．新規ワーク数は、前年比+12.0%。主要職種では倉庫内・軽作業が前年比＋46.8%と伸長。
3．スポットワーカーの平均時給は 1,185 円。前月差+11 円、前年差+22 円。

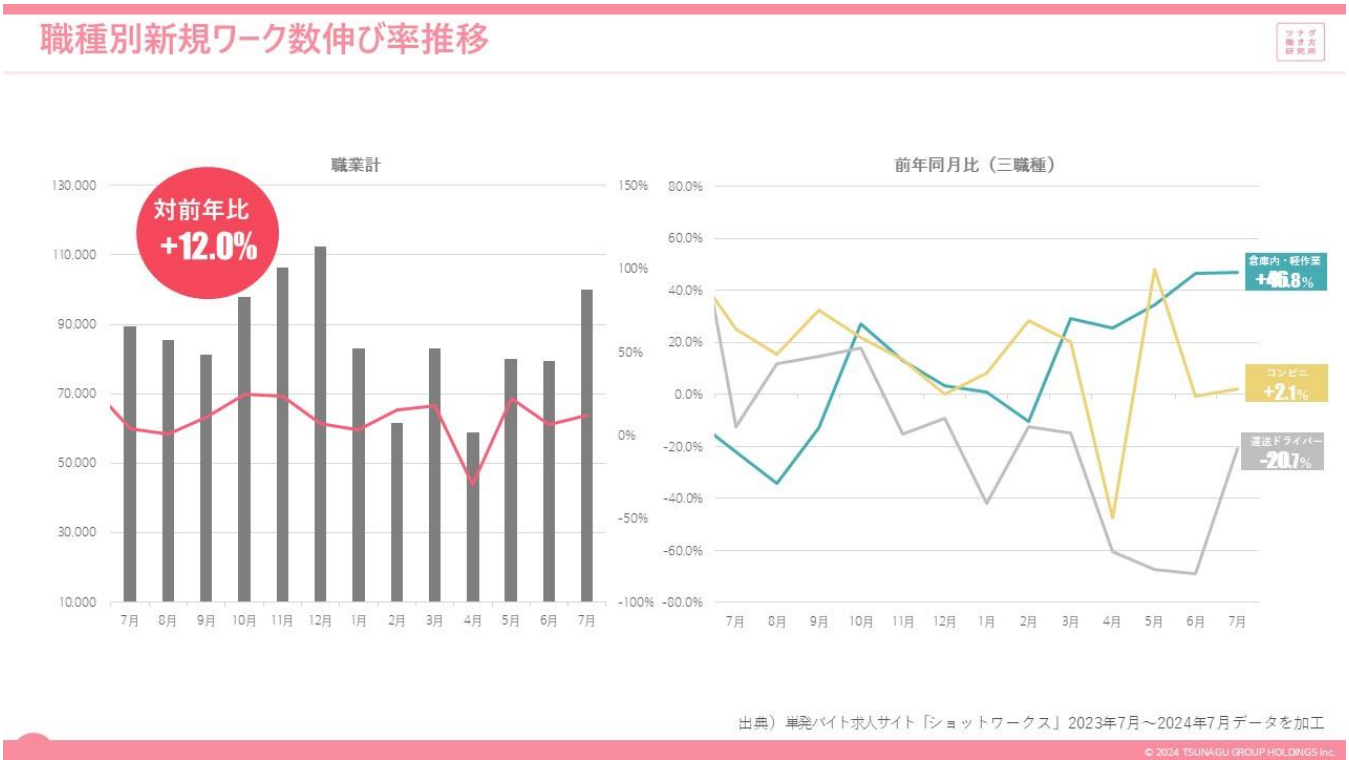
■1．スポットワークの求人倍率は 2.88 倍。前年差+1.05 ポイントと大幅な伸び。

2024 年 7 月度のスポットワーク求人倍率は 2.88 倍で、前月差+0.92 ポイント、前年差+1.05 ポイントと、前月/前年ともに求人数が増加したことによって求人倍率も大幅に上昇しました。



■２．新規ワーク数は、前年比+12.0%。主要職種では倉庫内・軽作業が前年比＋46.8%と伸長。

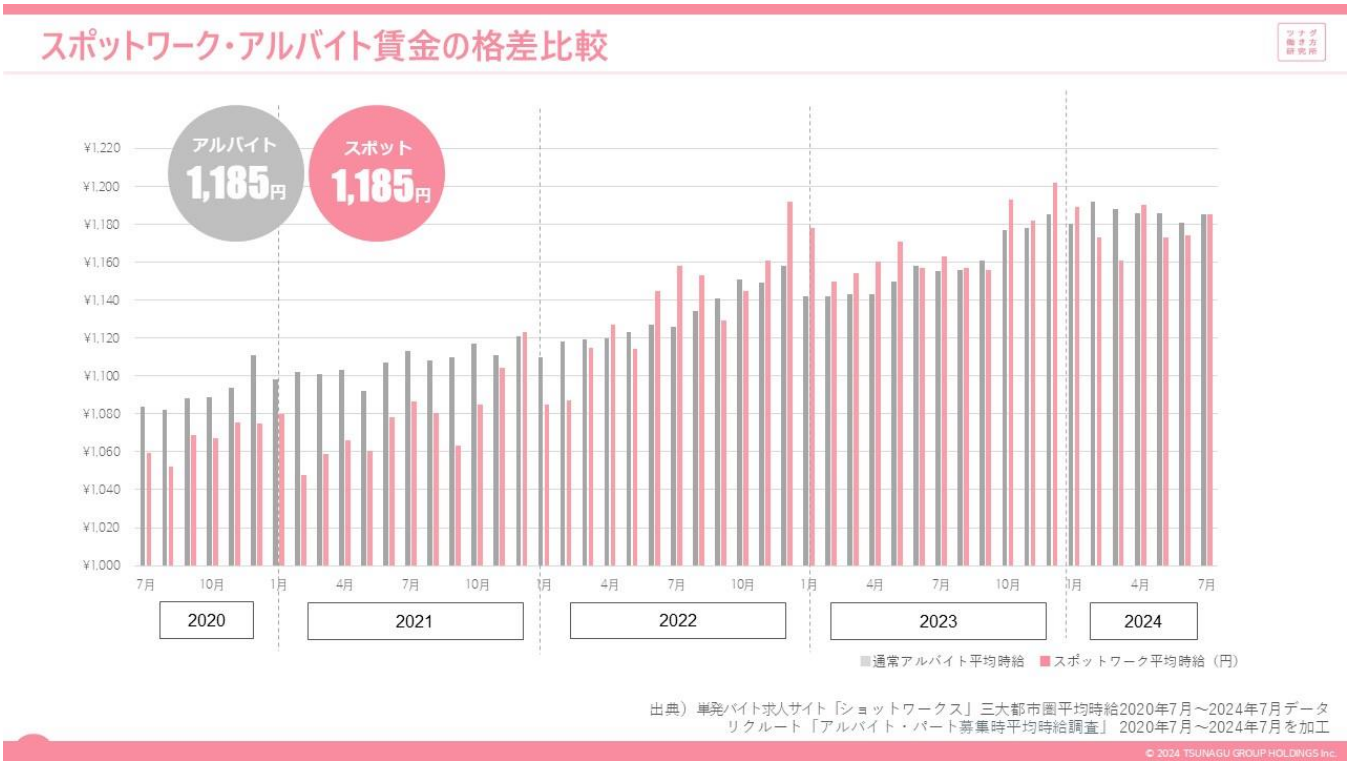
先行景気の先行指標とも言われる新規ワーク数は 100,005 件。前年比+12.0%と 3 か月連続で前年を上回りました。主要職種では倉庫内・軽作業が前年比＋46.8%と最も伸びが高くなっています。



■３．スポットワーカーの平均時給は 1,185 円。前月差+11 円、前年差+22 円。

2024 年 7 月度のスポットワーク平均時給（首都圏・関西圏・東海圏の 3 大都市圏）は 1,185 円。前月差+11 円、前年差+22 円となりました。通常のアルバイト平均時給 1,185 円（※リクルート発表「アルバイト・パート募集時平均時給調査」）と、2018 年 1 月より定点観測を始めて以降、初めて同額という結果となりました。

主要 3 職種で最も賃金差が大きいのは、コンビニスタッフでスポット 1,116 円、アルバイト 1,088 円と、スポットワーク時給が 28 円高くなっています。



出典）
単発バイト求人サイト「ショットワークス」2020 年 7 月～2024 年 7 月データ
総務省統計局「労働力調査(詳細集計)2024 年(令和 6 年)4～6 月期平均」
リクルート「アルバイト・パート募集時平均時給調査」

■スポットワークマーケットデータレポートとは

・スポットワークマーケットの定義

スポットワークとは、単発、短時間、短期間で働き「継続した雇用関係」のない働き方を指します。その中でも、雇用契約を結ばない“ギグワーク”と、単期雇用契約を結ぶ“単発バイト”の 2 種類に分類されます（ギグワークの代表例として、ウーバーイーツ配達員が挙げられます)。こうしたワークスタイルで働く個人、活用する企業の市場がスポットワークマーケットです。

・マーケットの現状

スポットワーカーは、コロナ禍を契機に急増、今後さらに広がりを見せていくことが予見されます。
個人）働き方改革による残業規制、コロナ禍による休業や勤務時間減少で、追加就労意欲が増大
企業）生産性向上観点から、ムダやムラのない＝必要な時に必要な人数を配置する人件費最適化の高まり
技術）タイムリーかつオンデマンドなマッチを提供するスポットワーク求人事業者の参入

・定点観測する意義

総務省統計局の「労働力調査」では、2018 年から ILO 基準の「未活用労働指標」を導入しました。例えば、その中にある「追加就労希望就業者」は「広義の失業者」とも言われる労働者です。現状の就労に追加してスポットで働くことは、労働者の収入安定、すなわち広義の失業率の改善につながります。一方、マクロ的に捉えると、潜在的な労働力活用は国力の向上に寄与することになります。こうした社会的意義と接続する観点から、本マーケットを定点観測し、市場規模の動向、有益なトピック、内在する課題などを可視化するデータレポートを発信していきます。

■ツナグ働き方研究所とは...

株式会社ツナググループ・ホールディングス（本社：東京都中央区／代表取締役社長：米田光宏)を母体とする、働き方のミライを描き、現場のリアルとの乖離を埋めていくための研究・発信を行なっていく組織です。「労働市場のリアルを、機動的かつ独自の視点から浮き彫りにする」というスタンスで、定点観測的基幹調査から就業者の行動実態を把握する月次調査まで、多岐にわたる調査活動を行っています。

■過去の調査、リリース（一部）は以下に公開しております。
【2023 年アルバイト採用ブランド力調査】
コロナ禍 3 年、アルバイト最強ブランドは 1 位ダイソー！2 位セリア！
https://tsuna-ken.com/research_report/baito_2023ranking/

バイト探しの情報源はネット化加速！学生では登録型サービス利用が増加！
2023 年アルバイト探しに利用した情報源調査（2019-2023 比較版）
https://tsuna-ken.com/research_report/arbeit_medium2023/

【アフターコロナの多様な働き方調査】5 類移行後の働き方調査
出社回帰の傾向が見られる中、働き手はちょこっとテレワークを希望
https://tsuna-ken.com/research_report/telework_5/

【会社概要】

社名：株式会社ツナググループ・ホールディングス
住所：〒104-0061 東京都中央区銀座 7-3-5　ヒューリック銀座 7 丁目ビル 7・8 階（受付 8 階）
代表者：代表取締役兼執行役員社長　米田 光宏
資本金：701,836 千円
従業員数：690 名/グループ合計（2023 年 9 月 30 日現在）
URL：https://tghd.co.jp

【本件に関するお問合せ先】
ツナグ働き方研究所（株式会社ツナググループ・ホールディングス）
担当：和田（わだ）　tsuna-ken@tsunagu.co.jp